拓く会通信

時代を拓く税理士の会は税理士の資格取得の経緯や専業や兼業にとらわれず
税理士業界に貢献する目的で設立された団体です。

時代を拓く税理士の会　No. 44号
発行日　令和３年11月１日
発行者　会　　長　渡邉　文雄
編集者　広報部長　近藤　正邦
事務局　03-6380-6644　F）03-6380-6665
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-8-5
竹嶋マンション301
(Web)　http:/hirakukai.jimdo.com/

時代を拓く税理士の会

第17回定期総会Web開催

令和３年９月25日(土)、時代を拓く税理士の会（以降、「拓く会」という）第17回定期総会がWeb配信により開催された。Web配信による定期総会の開催は、前回、第16回定期総会に続き２回目となる。

冒頭、令和２年度中に亡くなられた拓く会会員へ黙祷が捧げられた。富永絵里（雪谷）副会長による開会挨拶がなされ、大石雅也（葛飾）会長より挨拶があった。（会長挨拶はP. ２を参照）

議長は、近藤忠憲（豊島）副会長、亀岡タケ（青梅）副会長が選任され、議事録署名人には、菅沼俊広（中野）会員が指名され議事に入った。

第１号議案「令和２年度事業報告承認の件」については、百瀬弘之（芝）総務部長より、第２号議案「令和２年度決算報告承認の件」については、平野弘道（杉並）財務部長より説明があった。ここで、監事を代表して安田勝治（板橋）監事より監査報告がなされ、議場に諮ったところ出席構成員の挙手多数により、第１号議案、第２号議案ともに可決された。

第３号議案「令和３年度事業計画承認の件」は百瀬弘之総務部長、第４号議案「令和３年度収支予算承認の件」を平野弘道財務部長より、令和３年度についてはコロナ禍で事業実施は困難であると想定したが、通常通りの事業実施を行う方針として予算を組んでいる旨、詳細に説明があった。

なお、事前に一之瀬渉（立川）会員より簿記知識教育について要望をいただいた旨、大石雅也会長より報告があり、両議案とも可決した。

第５号議案「役員改選承認に関する件」にあたり、田中保（江東東）役員推薦委員長より新執行部人事について別紙が配布提案され、満場一致で可決された。

その後、渡邉文雄新会長より力強い就任の挨拶があった。（渡邉会長挨拶・新役員一覧はP. ４を参照）

定期総会挨拶

拓く会が果たすべき役割

時代を拓く税理士の会
前会長　大 石　雅 也（葛飾）

本日は、第17回定期総会にWeb配信を通しての参加、誠にありがとうございました。コロナ禍ということもあり、本総会も前回に引き続きWeb配信での開催となりました。

昨年度は、重点施策として、特に「拓く会」の柱であります「研修」と「人材育成」を掲げ、コロナ禍の中での１年となりました。

研修については、例年４回、研修会を企画しておりますが、集合型研修が難しいコロナ禍においても３回実施（うち２回はWeb配信での開催）し、100名以上の参加をいただきました。感謝するとともに、皆さんと一緒に研鑽できたことをうれしく思います。

人材育成については、特に女性参画について、皆さんが集まり顔を見ながら意見交換をするところではありましたが、コロナ禍によりそれもかなわず、縮小するに至りました。しかし、次の時代に繋げる基礎だけは、作ってきたつもりです。

さて、令和２年12月４日には、東京税理士会役員選挙が実施されました。この選挙では、会長２名、副会長12名が乱立する未曽有の選挙となりましたが、私ども「拓く会」では選考会議長を中心に協議を重ね会長１名、副会長６名（桜友会１名を含む）を推薦いたしました。

当初、副会長については７名を推薦すべきとの声もありましたが、コロナ禍での無投票選挙を目指し、あえて６名に限定いたしました。しかしながら、会長２名、副会長12名の立候補があり選挙の末、拓く会推薦候補、会長１名、副会長６名の全員当選を果たすことができました。

こうした選挙の状況で、足達信一新会長が選任されましたが、これからも税理士法を守っていくため、東京税理士会の運営にあたっては、足達会長の力を発揮していただき、一つにまとめ、日本税理士会連合会に協力できる体制を整えていただければと思います。

私自身の話となりますが、平成26年の６月に吉田友彦前「拓く会」会長からバトンを受け継ぎ、約７年間この会長職を務めさせていただきました。

その間、神津信一東京税理士会会長が日本税理士会連合会の会長となり、東京税理士会の会長職が空席となる事態がおこりました。「拓く会」推薦の西村 新 副会長（当時）が手を上げ、対立候補との会長選挙が実施され勝利いたしましたが、それ以来、会長選はなく、副会長選が続きました。

その際、以前より要望がございました拓く会会員全員投票による「選考会」も実施し、また一歩、会員の要望に応え前進できたと思っております。

こうした中、私を支えてくれました副会長、常任役員の皆様のおかげで、一つ一つの事業を丁寧に、そして自信をもってやってこれたと思います。

ところで、前回の副会長12名が乱立した東京税理士会役員選挙ですが、私が強く感じたのは、諸先輩方がこの拓く会を設立した意義です。

民主主義においては、会員の意見を反映してくれる代表者が必要であり、その代表を決めるため選挙は必要ですが、「拓く会」は選挙を好んでしているわけではありません。

私は、東京税理士会足達信一会長そして日本税理士会連合会神津信一会長のもとで税理士制度を守るために、この「拓く会」があるんだと思っております。

足掛け８年、「拓く会」会長職を皆さんのご協力をいただきながらできましたことを心より感謝申し上げる次第です。

総会特別研修報告

DIGITAL時代に対応する税理士業務を受講して

企画研修部長　菅 沼　俊 広(中野)

４年連続で毎年恒例となった「拓く会」総会前の日本税理士会連合会（以下、「日税連」という）神津信一会長の今年の講義は「DIGITAL時代に対応する税理士業務」と題し、日税連が税理士法改正で目指すもの、ならびに時代の大きな変革期に税理士制度はどのように対応するのかと言う時代の流れに沿った格調高いものであった。

講義内容は、ダーウィンの進化論から始まり、税務行政を取り巻くデジタル・トランスフォーメーション（Digital transformation：DX)、税理士資格と国家資格のマイナンバーを使った情報連携、日税連の税理士法改正要望書の概要、国税庁の要望事項等であった。日税連会長ならではの情報と視点から、最近の税理士業界の状況と展望について語っていただいた。令和３年度電子帳簿保存法の改正留意点や令和５年からの消費税インボイス導入、令和３年度の税理士試験申込者の増加傾向に触れ、税理士のDXを通じて税理士の将来像を発信していこうというDX時代の税理士の在り方を見据えた素晴らしい内容であった。

新型コロナウイルスのまん延による顧問先企業の苦境と世の中のデジタル化に税理士はどのように対応していくべきかを考えさせられる研修であった。

国税庁は、税務行政のDXとして将来的にはあらゆる税務手続が税務署に行かずにできる社会の実現に向かい、申告内容の自動チェックやAI・データ分析の活用、照会等のオンライン化により「課税・徴収の効

率化・高度化」も目指しているようだ。

日税連の「税理士法に関する改正要望書」も例年になくICT化への対応を全面に出し、「ICT化とウイズコロナ時代への対応」として1.税理士業務のICT化推進の明確化、2.税務代理における利便の向上、3.税理士会等の通知等の電子化、4.電子記録媒体の見直し、5.事務所規定の見直しを挙げているが、DXの実現には時間がかかりそうである。

なお、東京税理士会では足達信一新会長のもと新たにデジタル化委員会を設置し、業務や会務に係る情報発信を迅速に行うべく「情報配信室@千駄ヶ谷」を開設し、会員のデジタル化対応を支援すべくデジタル相談室を設けるなど、神津日税連会長の目指す方向に沿った施策を実施している。

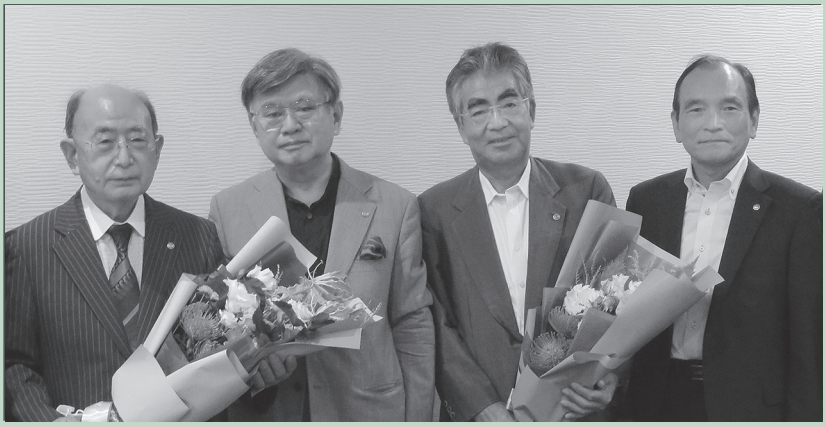
ウイズコロナのもと顧問先・業務のデジタル化、DX化に対応すべく、「拓く会」企画研修部では、よりわかりやすくデジタル化を伝える研修を実施する予定であり、会員の皆様には是非、受講をお願いしたい。

大石雅也 会長

お疲れ様でした

延長を重ねた緊急事態宣言がようやく解除され、新たに第百代となる岸田文雄首相が誕生しました。「拓く会」も新たに渡邉文雄会長が選任され、ダブル文雄時代の幕開けです。ご期待ください！

森下清隆（小石川）



新会長挨拶

会長就任にあたって

時代を拓く税理士の会
新会長　渡邉　文雄（新宿）

第17回定期総会にて会長に選任されました渡邉文雄でございます。大石会長の後ということで大変責任が重く、できる限りの力を尽くして頑張っていきたいと思っております。

私は第１期の拓く会総務部長であり、当時、平山玲昱会長のもと、みんなで「拓く会」会則をつくりました。

会の目的、それは第２条にあります「本会は、健全な税理士会の運営及び的確な執行体制を確立するために、誠実かつ適切な人材を擁立支援し、もって広く会員の総意を集約する新しい時代にふさわしい税理士業界の実現を図ることを目的とする」でございます。

この目的は燦然と輝くものであり、今まで会長としてまた副会長として「拓く会」が擁立してきた誠実かつ適切な人材が、今の東京税理士会足達信一会長、そして日税連では神津信一会長と素晴らしい会務運営を担っておられます。大石雅也会長におかれましても、「人材育成」を重点施策として一生懸命やってこられましたが、このような会務をされる人材を発掘し、また応援することが我々の目的だと改めて思っているところです。

今回、副会長、常任役員に選任されました皆様は、今まで「拓く会」に尽くしてこられた本当に素晴らしい方々でございます。これからも共に努力をし、ますます発展する税理士制度のために素晴らしい人材を発掘し、東京税理士会あるいは日本税理士会連合会へ送り出していきたいと考えております。

皆さん、どうぞ、よろしくお願いします。

令和３年度常任役員名簿

役職	担当	氏名	支部	役職	担当	氏名	支部
会長	（日税連部会・役員推薦委員会）	渡邉文雄	新宿	常任幹事	企画研修部副部長	座間英明	葛飾
				常任幹事	企画研修部副部長	加藤昭弘	足立
副会長	（渉外部）	菅原初義	神田	常任幹事	企画研修部副部長	大木進次郎	浅草
副会長	（女性参画部）	山本竜三郎	蒲田	常任幹事	渉外部長	池田邦英	神田
副会長	（組織部・支部長理事部会）	吉川裕一	杉並	常任幹事	広報部長	近藤正邦	麹町
副会長	（企画研修部）	鈴木誠	上野	常任幹事	広報部副部長	森下清隆	小石川
副会長	（総務部）	野間口嘉平	世田谷	常任幹事	広報部副部長	加藤一郎	渋谷
副会長	（政策部）	石井啓子	豊島	常任幹事	広報部副部長	木南誠	麹町
副会長	（財務部・厚生部）	平田耕伸	西新井	常任幹事	厚生部長	成田忠幸	杉並
副会長	（広報部）	小山敦	武蔵府中	常任幹事	厚生部副部長	齋木忠裕	世田谷
常任幹事	総務部長	宇都宮功	京橋	常任幹事	支部長理事部会長	鈴木博史	江戸川北
常任幹事	総務部副部長	百瀬弘之	芝	常任幹事	支部長理事部副部会長	星雅典	武蔵野
常任幹事	総務部副部長	尾崎正俊	荻窪	常任幹事	女性参画部長	富永絵里	雪谷
常任幹事	総務部副部長	小松原昭芳	葛飾	常任幹事	女性参画部副部長	柿崎久実恵	武蔵野
常任幹事	政策部長	浅井和夫	目黒	常任幹事	女性参画部副部長	成瀬佳子	玉川
常任幹事	組織部長	山崎良仁	新宿	常任幹事	女性参画部副部長	松野淳子	世田谷
常任幹事	組織部副部長	大澤泰一	荒川	常任幹事	日税連部会長	中牧秀夫	京橋
常任幹事	財務部長	平野弘道	杉並	常任幹事	日税連部会副部会長	遠藤潔	王子
常任幹事	財務部副部長	新居之昌	麻布	常任幹事	役員推薦委員長	近藤忠憲	豊島
常任幹事	企画研修部長	菅沼俊広	中野	監事		下田政廣	中野
常任幹事	企画研修部副部長	奥澤誠	浅草	監事		落合久美子	新宿
常任幹事	企画研修部副部長	高橋邦夫	浅草	監事		亀岡タケ	青梅